



# 佐工だより

佐賀県立佐賀工業高等学校 総務部発行 第341号 (2021年1月)



8月24日から始まった長い2学期が終わり、冬休みです。新型コロナウイルスの感染がいよいよ拡大し、家で過ごす時間が多くなりそうです。次の就職戦線は厳しくなる見込みとされていますから、課題に真剣に取り組んで力をつけ、また静かにこの1年を振り返って来年の目標を定めましょう。

ラグビーフットボール部は大阪・花園ラグビー場で開催される第100回全国高校ラグビー大会に出場し、なんと初日のメイングラウンドでの第1試合に登場します。対戦するのは山口県の大津緑洋高校です。それに勝つと、12月30日に大阪府の東海大仰星高校と闘います。健闘を祈ります。

## キュポラ実習 機械科3年

実習の前の安全祈願のようす



11月16日、12月7日の2日間、機械科の3年生がキュポラ（熔解）実習を行いました。1400度という高熱で鉄を溶かして作り上げたのは校章文鎮と卓上万力です。真っ赤に溶けた鉄は湯といますが、溶けてさらさらになった湯を砂の型に流し入れ、1日かけて冷やし、翌日、型の砂を落として取り出します。

生徒諸君に担当した係と感想を尋ねました。「鑄込みを担当しました。14キロもあって重かったです。こぼさないように気をつけました。

(馬場桜佑君)」「鑄込みです。水より比重が重く、見た目より重いので、

水平になるように気をつけて持ちました。(井口萌晃君)」「鑄込みです。通るときはぶつからないよう『通ります』と大声で伝えました。(鈴木海翔君)」「温度係で、出銑した鉄の温度を計りました。回数を重ねるたびに温度が上がっていきました。熱気がすごくてこわかったです。(内田雅人君)」「玉銑です。こぼれた湯を踏んだら靴が溶けて火傷するので急いで取りました。2、30個は拾いました。(徳永陸人君)」「大とりべをしました。本体から出てくる1400度の鉄を受けました。揺らしてこぼれないように気をつけました。熱いのでヘルメットにフ



ずらりと並んだ型。砂がからまないよう鑄込み直前まで紙コップをかぶせている。

ェイスシールドをしてやりました。(内川朝陽君)」「声出しをしました。送風機などで音が聞こえない状況の中で、大きな声で何回目の燃料補給かなどを知らせました。(前島秀汰君)」「写真係です。みんなの邪魔にならないように撮影しました。(行武暖君)」「鑄込み係です。すごく重かったです。こぼさないよう気をつけました。(古川颯大君)」「出銑です。時間を見て、タイミングをみんなに知らせました。そして先生が湯が流れる穴を粘土でふさぐ助手を務めました。(森永陽斗君)」「危

とりべで湯を流す横で玉銑係がこぼれた鉄の玉を拾っている。



険と隣り合わせのこの実習は怖いけれどもおもしろい。生徒諸君はこの貴重な体験をとおしてまた一回り成長したに違いありません。掲載している写真は、記録写真を担当した生徒によるものです。

## 工場・現場見学 建築科1、2年・電気科1年・電子科1年

先月号に引き続き、工場見学の感想を見学報告書から抜粋して掲載します。

### 建築科2年 見学先：唐津消防署消防南分署新築工事・県営山崎団地 R2 棟改修工事 見学日：11月17日

◆改修工事の現場見学では、各部屋の窓に完成図が貼ってあったので、想像しやすかったです。築42年の建物だったけれど、使える木材はそのまま残っていて、温かみを感じました。(藤瀬麻衣さん) ◆初めて大きなドローンを近くで見ましたが、スピードが速いまま操作してとてもすごかったです。私も操作してみたかったのですが、値段を知ってしまうと怖くてできませんでした。ドローンの性能はすごく、とても有能だなと思いました。ドローンの操作に挑戦した3人は、初めてなのに結構上手だったのでびっくりしました。(野田杏さん) ◆床下の配線や配管が思っていたよりも多いことに驚きました。こんなにたくさん必要なのかと思うくらい多くの管が壁やUBの床下などに配置されていました。配管などが外側に出ている所を見ることはあまりないと思うのでとてもよかったです。今高校で習っていることが実際に働くときの基礎になっているということを実感しました。(隈本晴也君) ◆案内して下さいの方が、元気のいい人が良い、職人さんと仲良くなれることが大切だとおっしゃっていてなるほどと思いました。たくさんの人と関わり、年代や専門分野などの幅が広いと思うので、きちんとコミュニケーションがとれるように今から意識して生活したいです。(岩永かんなさん) ◆お湯と水が異なるパイプから出てくることも初めて知りました。もっ

と勉強しなくてはいけないと思います。(川浪愛莉さん) ◆自分が携わった建物が「地図に残る」という言葉が印象に残りました。仕事してお金をもらうだけでなく、建物として地図として形に残る建設業は素晴らしい職業だと思いました。(村岡愛菜さん) ◆建設業とは作るだけでなく、直すということでもあると再確認しました。新しいものばかり建てていたら、人が住まない住宅がどんどん増えていくので、これまでのものを改修していくことも大事だと思いました。(岸川悠良君) ◆原価管理の話は初めて知り、「ムダ」や「手戻り」が多ければ利益が少なくなるので、そのようなことをなるべく省くことで給料が上がるということを知り、なるほどなと思いました。(中野雄太君) ◆工事が終われば、築42年でもまた新たな住居として使われるので、建築と言っても何もないところから作る建築以外のものを見ることができてよかったです。(吉浦陸君)



### 建築科1年 見学先：中国木材伊万里事業所 老人ホーム新築工事（木造） 見学日：11月18日

●見学する前までは中国木材という企業を知らなかったけれど、話を聞いて、ここが潰れると家が建たないと言われるくらい影響力がある会社だということを知ってとてもびっくりした。(梅崎翔太君) ●今回初めて家が建てる工程を見学することができました。普段見ることのできない部分を見ることができたのですごく嬉しかったです。構造の授業で習ったところを復習することができましたが、分からないところもあったので、まだまだだなと思いました。(本山瑛大君) ●集成材は木裏、木表の方向もしっかりと考えられていて、強度を上げるために木表が外側に向けられている。小さな事でも気を配っているのだなと思いました。今回の見学では学校で学習したことをより深く、詳しく知ることができてとてもよかったです。(吉田なつきさん) ●新築の家はデザインがとてもよかったです。



です。「緑の木」を使っていて、シロアリ対策や何年たっても腐らない家にしてあってすごいなと思いました。平屋建ての良さを実感しました。(松尾汐里さん) ●老人ホームの建設現場では、梁に鉄がくっついていてビックリしました。これはテクノビームというもので地震にも台風にも耐える力を生み出していると聞いて、進化しているなと思いました。(江原颯志君) ●一番印象に残っているのは工場内の匂いです。中に入った途端、ヒノキの匂いがとても強くしました。工場の中には思っていたより人がいなくて驚きました。確かに、切ったりするのは機械ですから、納得できました。(宮地咲季さん) ●初めて目にする光景に感動しました。何千本という木が置いてあって、それを必要に応じて加工していくのはすごいと思いました。(真崎巴那さん) ●大工さんに「1番難しいことは」と聞いたら、「人間関係だ」とのことだったので、人間関係を大切にしていきたいと思いました。(陣内彰久君)

電気科・電子科の1年生はなんと Web 見学。工場内の映像がリアルタイムで送られてきました。

### 電気科1年・電子科1年 見学先：株式会社かわでん 見学日：11月19日

■「人の暮らしを電気で支える縁の下の力もち」という言葉はとてもいいなと思いました。警察や消防のように表で人を助けるのも良いけれど、裏で人の暮らしを支えているかわでんもすごいなと思いました。(井上弘翔君) ■吉村さんは、「資格は取っておいた方がいい、資格は大人になってから取るのは難しい」とおっしゃっていたので、取れる資格はできるだけ今のうちに取っておきたいです。(黒川耀斗君) ■かわでんの配電盤は、一つ一つがオーダーメイドで、みっちり打ち合わせをして、お客様の要望に応じているというのがすごいと思った。(古川伊織君) ■資格はなくてもいいようですが、入社してから電気工事の資格を取るという話を聞いて、取れるとき

にとっておいた方がいいと感じました。(船津暁人君) ■30分で台が動くまでにものを完成させなければいけないのを見て、自分が補習でやっているのは40分以内なのに、それより10分もはやく作れるなんてすごいと思いました。(松本百輔君) ■本当は工場を直に見たかった。本物を見たいなということを知ってさらに思った。しかし、モニター越しに仕事場のシンとした雰囲気を確認できた。(姉川勝哉君) ■配電盤の中を見ると、とても複雑な電線が配線されていて、この会社はとても頭のいい人達が多いことがわかりました。(山口晴正君)

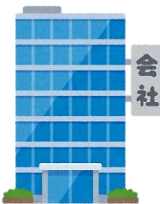




■社員の吉村さんの話で、会社に入って覚えなければならぬことがたくさんあると聞いて驚きました。吉村さんは、はきはき話しているのを見て、コミュニケーション力がとても大事だなと思いました。(松尾航希君) ■吉村さんが「高校よりも会社の方が大変だ」とおっしゃるので、どうして大変なのかと思っていたら、覚えないといけないことが多く大変だと聞いて納得しました。就職活動や勉強を頑張り、もう一度自分を見直していこうと思いました。(福本准也君) ■皆川さんや吉村さんを見てるととても明るく話していらしゃったので、会社内の雰囲気もよさそうだと感じられました。自分はこれまでの生活で反省すべき点がたくさんありました。吉村さんのアドバイスを実行に移したいと思います。(香田晃助君) ■植木さんや吉村さんは入社して何年もたないと思うが、とてもわかりやすく丁寧に説明していたのですごいなと思ったし、自分もこうなりたいと思いました。(富樫響君) ■自分が気づいていない所にも、たくさんの人が関わっている製品があって、そのおかげで私達が生活できていることに気づけてとてもよかったです。(石丸ちひろさん) ■かわでんの仕事で気になったことは、工程管理・資材手配で、製造の手順や工数、日程など、納期に合わせた生産計画を立てて、必要な部品を必要な分だけ注文しているので、間違えたり破損したりすると大変だなと思いました。(稲田悟君) ■自分は佐賀が発達していると感じたことが今まであまりなかったのですが、あんなに大きな会社と数少ない工場が佐賀にあるということを知り、佐賀もまだまだ腐れてはいないなと思いました。(福地諒真君)

■社内に入ると、黒い画面に向かって設計をしている人やプリントを整えている人など、いろんな人が違う作業を静かにこなしていて、なんだかっこいいなと思いました。(副島康聖君) ■「作業はチームワーク重視」ということもあって、先輩後輩が仲良く作業ができるという環境が作られているという点にとっても魅力を感じました。自分も仕事を見つけたとき「かわでん」のよ

うな良好な職場を見つけたいと思います。(宮寄春樹君) ■この工場見学のおかげで自分がこの先どういう資格を取ればいいのかわかり、勉強を頑張らないといけないことを実感しました。(川浪優弥君) ■入社1年目は帽子が緑になっていて、誰が1年目で誰が長年やっている人かわかりやすくなっているところがとても良く感じました。1つ1つの手順が難しくあつたものの、どの仕事もしっかり取り組み、定時までに終わらせればやりがいがあると言っていたのもよくわかりました。(江口幸佑君) ■今日は本当に2年後について考えることができました。自分に合った仕事ややりがいのある仕事について、じっくり焦らず考えようと思いました。本当に自分のためになりました。(小川賢輝君) ■自分はこういった会社があつて、その会社ではどのような仕事をしているかなどよくわかっていなかったのですが、Web 工場見学で仕事の内容について少し知ることができました。これからどういう仕事をしたくてこういった会社に入りたいというのを決めていかなければいけないので、今日はたくさんを知り、いいきっかけになりました。(古賀雅貴君) ■どうしたら作業スピードが速くなるのかや、どの手順で作業をしたらいいのかなどは、仕事をやるようになってからでは遅いと思うので、今からそのような考えを持ち、どの職場に勤めてもその能力が生かせるようにしたいと思いました。(佐藤新琉君) ■1台何百万円もする機械を製造することは責任重大だと思うけれど、かわでんの社員さんはとても素早い手捌きで平然と作業していたのですごかったです。(田原旭君) ■何より一番素晴らしいと思ったのは、みんなとても人がよさそうということです。説明をくださった皆川さんとOBの池末さん、カメラマンをしてくださっていた植木さんなど、とてもいい人だと思いました。だからこそこんなにも会社の信頼が厚いとも思いました。(平石悠人君) ■高校での勉強は将来役に立つとおっしゃっていたので、自分も勉強と資格取得を頑張りたい。まずは今頑張っている第2種電気工事士に合格したい。そして将来就職の時に有利になるようにたくさん資格を取りたい。(真木優斗君)



## 表彰

キ・M：機械科 テ・E：電気科 シ：電子情報科 ケ：建築科 I：情報システム科

### 第44回全国高等学校総合文化祭

◆ 文芸部門 文化連盟賞 竹巖 一輝 (テ2-2・昭栄中)

### 令和2年度第5回佐賀県高等学校ものづくり溶接競技大会

団体の部 優勝 古賀 大智 (キ3-2・有明中)  
坂井 凌 (キ2-2・川副中)  
中島 秀虎 (キ3-1・三瀬中)  
個人の部 優良賞 古賀 大智

### 第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会佐賀県大会

優勝

### 令和2年度佐賀県高等学校新人体育大会

◆ 柔道競技 男子個人 66kg級 第2位 大坪 奨武 (M1・三日月中)  
73kg級 第1位 藤田 健斗 (キ2-2・三日月中)  
90kg級 第3位 大久保 風文己 (キ2-2・大和中)  
100kg級 第3位 塙 龍ノ介 (I1・昭栄中)  
100kg超級 第1位 寺尾 光翔 (キ2-2・牛津中)  
" 第2位 原田 拓真 (キ2-2・高田中)  
" 第3位 平田 輝流 (キ2-1・諸富中)  
" 第3位 空閑 蒼汰 (M1・有田中)  
男子団体 第3位

- ◆ ソフトテニス競技 男子団体 優勝
- ◆ 登山競技 男子 第2位
- ◆ バドミントン競技 男子団体 第2位



第19回佐賀県高等学校総合文化祭 文芸コンクール  
 俳句部門 二席 橋本 泰希 (キ2-1・城西中)  
 俳句部門 三席 阿部 峰和 (シ2・城北中)  
 俳句部門 四席 岸川 蓮 (E1・小城中)

第22回佐賀県高等学校総合文化祭 新聞コンクール 優秀賞

第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会佐賀県代表決定戦  
 男子 第3位



第28回佐賀県建築士会主催佐賀県内工業高校生による建築設計競技  
 銅賞 柳瀬 陸 (ケ3・大和中)  
 銅賞 坪上 智哉 (ケ3・諸富中)

# 1 月 行 事 予 定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	金		17	日	
2	土		18	月	実力診断テスト(2年)
3	日		19	火	⑥②③④①⑤ クレパリン検査(2年)
4	月		20	水	
5	火		21	木	課題研究発表会(キ3-2・シ3-1・シ3-2)
6	水		22	金	
7	木		23	土	
8	金	始業式	24	日	県高校デッサンコンクール(本校会場)
9	土		25	月	課題研究発表会(キ3-1・テ3-2・ケ3)
10	日		26	火	①~⑤45分授業 ⑥人権・同和教育講演会 課題研究発表会(テ3-1)
11	月	成人の日	27	水	スクールカウンセラー来校日
12	火	課題テスト(1年) 求人票の見方(2年) 赴任を前に(3年)	28	木	学年末考査(3年)(~2月2日)
13	水	スクールカウンセラー来校日	29	金	
14	木	献血(3年希望者)	30	土	
15	金	情報技術検定	31	日	
16	土				

## 佐賀県立佐賀工業高等学校

所在地 〒840-0841 佐賀市緑小路1-1

TEL 0952-24-4356

FAX 0952-25-7043

(ホームページ)

<https://www.education.saga.jp/hp/sagakougyoukoukou/>

**編集後記** 最近、『ぼくは縄文大工』という本を読みました。著者雨宮国広氏は石斧や石のみ、縄を使って縄文小屋を建て、丸木舟を作り、縄文人の暮らしを実践しています。ステキ！私の憧れの家は竪穴式住居です。究極のワンルーム。湿気を避けるために、床は掘り下げず、断熱をして、中央の火で煮炊きする。飢饉に備え、庭にはシイの木を植え、井戸も掘る…しかし、実際には……普通の素敵な家を建てて住んでいます。建築科の生徒諸君、コンパクトで住みやすい、現代風竪穴式住居をデザインしてみませんか。 K